

ラオス行政関係者らが視察に

医療廃の適切な処理・管理に貢献



廃棄物の処理やリサイクル工程を見学した

総合リサイクル・廃棄物処理事業を展開する加山興業（愛知県豊川市、加山順一郎社長、
0533・89・0375）に4月25日、ラオスの行政機関や病院の関係者5人が訪れ、リサイクル設備や焼却炉などを視察した。（独立国際協力機構（JICA））

ラオスでは、医療廃棄物等の有害廃棄物の処理・管理が適切に行われておらず、未処理のまま埋立処分したり、分別が適切に行われていないなどの問題が起きており。JICAは、この状況の改善に向けた調査を実施。同社が提案する「統合廃棄物処理システム」のうち、有害廃棄物の焼却・乾燥施設を活用し、医療廃棄物の安全で効率的な処理に貢献することを目的としている。

今回の視察に来日したのは、最終処分場を管理するラオス国ビルチャン市都市開発行政機構、保健省、商工省、天然資源環境省、セタティラート病院の廃棄物関係者ら。同社豊川工場の他、同月24～28日の滞在期間中に豊川市民病院や同市清掃工場なども見学し、自治体の取り組みや医療廃棄物の処理方法などを視察。意見交換等を通じて、自國に必要な技術やアイデアを学んだ。

加山興業

A) から採択を受けた
「中小企業海外展開支援事業」案件化調査

が起きており。JICA

Aの採択事業では、その状況の改善に向けた

調査を実施。同社が提

案する「統合廃棄物処

理システム」のうち、
有害廃棄物の焼却・乾
燥施設を活用し、医療
廃棄物を含む有害廃棄物
の処理・管理等について
研修を行った。

ラオスでは、医療廃
棄物等の有害廃棄物の
処理・管理が適切に行
われておらず、未処理

のまま埋立処分した
り、分別が適切に行わ
れていないなどの問題

が起きており。JICAは、
この状況の改善に向けた
調査を実施。同社が提
案する「統合廃棄物処

理システム」のうち、
有害廃棄物の焼却・乾
燥施設を活用し、医療
廃棄物を含む有害廃棄物
の処理・管理等について
研修を行った。